

[報告]

情報処理学会分散コンピュータ博物館認定式が行われました

情報処理学会分散コンピュータ博物館認定式が、3月9日（火）午前9時30分から東京大学小柴ホールで行われ、小林広明センター長が出席し、認定書とプレートが白鳥則郎情報処理学会会長から授与されました。

「分散コンピュータ博物館」とは、規模は小さいながら、貴重な資料を蒐集、展示しており、より多くの方々にその存在を知っていただき、利用してもらえるようそれらを情報処理学会の分散コンピュータ博物館として認定する制度です。

当センター展示室は、東北大学大型計算機センターで使われたコンピュータを中心にパラメトロン・トランジスタ・LSIのパッケージや装置などを保存し、技術の発展をわかりやすく展示していることが、認定に至った理由となっています。

<情報処理学会 認定式関連ウェブページ>

<http://www.ipsj.or.jp/07editj/history/2010heritage2.html>

